二〇二三年度　入学試験問題　（二月一日午後）

国語

一　開始の合図があるまで問題用紙・解答用紙にふれないでください。

二　開始の合図があったら、最初に問題用紙六ページ、**解答用紙二枚**を確認してください。

三　解答用紙に受験番号と氏名を記入してから始めてください。

四　問題についての質問は受け付けません。印刷のはっきりしないところや用事があるときは、声を出さずに手をあげてください。

五　字数が指定されている問題は、記号・句読点も一字として数えてください。

六　問題用紙は回収しません。

七　筆記用具の貸し借りはしないでください。

八　試験時間は五十分です。終了五分前になったら知らせます。

九　答案を書き終わっても座席からはなれないでください。

第二回

一

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

①文字のない時代にあっても、話し言葉さえあれば、小さな部族で日常生活を営むには別に支障はありません。でも、部族が大きくなってくると、目の前にいる相手とだけコミュニケーションをとっていればすむ場合ばかりではありません。どんなに叫んでも、聞こえない距離にいる人間ともコミュニケーションをとらなくてはなりません。また、大きな集団生活を維持するための決まりやその集団の精神生活を支えるための言い伝えを次の世代に伝える必要が出てきます。さしあたっては、優れた記憶力の持ち主を選んで、その任務を遂行させればいいのです。

ですが、音声による伝達は、耳によって受け取られることだけを目的にしていますから、語った途端に消えてしまいます。とくに困るのは、優れた語り手の不慮の死によって、集団の精神生活を支えるための伝承が途切れてしまうことです。なんとか、次の世代に自分たちが苦労して得た智恵や知識を確実に伝える術は無いものか？記録すること。記録にして残せば、後の時代の子孫たちも、それを見ればさまざまの智恵や知識を得ることが出来ます。記録するのに適切なものは、何でしょうか。

絵。絵でも確かにある程度は伝えることが出来ます。けれども、描くのに時間がかかるし、誤解のないように伝えることは難しい。そもそも、絵というのは、［　②　］ものです。それに対して、話し言葉は時間の流れに沿って展開するものです。最初から、性質が異なる媒体なのです。時間的に展開する話し言葉は、やはり時間的に展開する「文字」に写し取っていくのが最も賢明な方法です。

日本人も、「文字」に記して自分たちの文化的な財産を子孫に残そうと考えた。でも、「文字」と（　ア　）口に言っても、どうしたらいいのでしょうか。そもそも「文字」がないのです。なにしろ、「話し言葉」だけで、生活してきましたから。「文字」をどうしたら、手に入れられるのか。とるべき方法は二つしかありません。一つは、自分たちで、自分たちの話し言葉を記すのに適した文字を創り出していく方法。もう一つは、すでに創られ使われている他国の文字を借りてきて利用する方法です。

さて、あなたなら、どちらの方法をとりますか。創り出すほうが、（　イ　）見大変そうにみえます。それに対して、借りる方が簡単そうに思えます。でも、新しく文字を創り出していく方法は、文字を書いていくシステムさえ思いつけば、思っているよりも創造的で楽しい作業になります。韓国のハングルなどは、その良い例です。ハングルは、李朝第四代国王世宗の時代に学者によって考案され、一四四六年に「訓民正音」として公布された朝鮮固有の文字です。アルファベットのような表音文字でありながら、漢字の原理を取り入れ、母音字と子音字を組み合わせて音節単位に書く文字です。（　ウ　）定のシステムに従って体系的に創り上げられています。

さて、もう（　エ　）方のよその国の文字を借りるという場合は、思っているよりも楽ではないのです。とりわけ、書き記すべき日本語とは違った構造の言語の文字を借りた場合には、その苦労は半端

ではありません。いったん出来上がった家を自分の好みに合わせて③リフォームしていく作業を思い起こしてください。④新築の家を建てるのよりも、技術がいります。新築の家なら、新米の大工さんにでもできる。でも、リフォームは新米の大工さんには出来ない。熟練した大工さんになって、はじめて好みにあったリフォームが出来るのです。

出来上がってそれなりに完成している物を作り変えるという作業は、実は新品を造るよりもある意味では大変だということに、日本人は気づきませんでした。

というより、日本には、お隣に中国という文化国家があり、政治・経済を含めてすべてを取り入れ、吸収せざるを得なかったといった方がいいかもしれません。中国には、紀元前一五〇〇年頃に発生した漢字が存在しています。尊敬している国に漢字という手本がある。それっ、というわけで、よくも考えずに日本が漢字を借りてしまうのはごく普通の道筋です。

でも、これが、後に日本の表記体系を複雑きわまりないものにしてしまう原因になるのです。日本のように、書かれた人名や地名をどう読むのか見当がつかないなんて国は、そうざらにあるものではありません。文字をよく知っている人でも、正しく声に出して読めないという不思議な国なのです。以下、このことをポイントだけつかみながら述べていくことにします。

文化も高く、日本よりも数段、勝っている中国の漢字を、日本が受け入れたのは、『古事記』や『日本書紀』によれば、三世紀の終わりのこと。中国からの書物『論語』『千字文』との対面がそれであったと記されています。実際にはもう少し遅く、四世紀頃のことと考えられています。

漢字を借りて、日本語を書き表せば良い。けれども、⑤そんなにうまく行くわけがありません。（　あ　）、中国語と日本語とは異なる体系の言語なのです。（　い　）、日本語の語順は、述語が最後に来る。（　う　）、中国語では、英語と同じく主語の後に直ちに述語が来る。

（　え　）、日本語には、多くの助詞・助動詞があり、それが実質的な意味を持つ単語に膠で接着したようにくっついて、文法的な役割を示しています。「膠着語」と呼ばれる言語の一つです。一方、中国語には、日本語の助詞・助動詞に該当するようなものがとても少ない。文法的な役割は、実質的な意味を持つ単語の順序で表します。「孤立語」と呼ばれる言語の一つです。

こんなふうに、異なる系統の言語の「文字」を借りてしまったために、日本人は日本語を書き表すのに、相当な苦労を払わなければならなくなった。表記に苦しむ日本人の姿は、『古事記』の序文にうかがえます。

（中略）

借り物の漢字では、うまく日本語を書き表せない⑥もどかしさ苦しさが切々と語られています。隣国にすでに作られた漢字があったということは、それを利用できるという安易さと引き換えに、利用することによってひき起こされる問題が浮上してきたのです。

けれども、漢字が表意文字だったことが幸いしました。とにもかくにも、「やまとことば」を漢字にあてはめることができるのです。たとえば、「山」という漢字を受け入れる。同時に「サン」という中国音も受け入れる。次に「山」を意味する「やまとことば」を当てはめて、「やま」とも読む。こうすれば、日本語を表すために漢字が使えるのです。一見すばらしい工夫に見えます。

ところが、これは、漢字一字に対して複数の読みを与えてしまったことになるのです。これが、最大の問題です。韓国では、日本と同じように中国から漢字を取り入れましたが、漢字とその発音を受け入れただけです。日本のように、該当する自国の言葉をその漢字の読みに振り当てることはしませんでした。これが普通の受け入れ方です。

日本語の表記が、世界でも稀なほど複雑なのは、一つの漢字に複数の読み方をするような受け入れ方をしたところから生じてしまったのです。だから、日本最古の歴史書『古事記』は、漢字を辿ると意味は分かるけれど、声に出して読もうとすると、読めない。現在でも、⑦日本人が時々経験する「漢字が読めない」という不思議な現象は、漢字という文字を受け入れた時に遡ることがお分かりいただけたのではないでしょうか。

（山口　仲美『日本語の歴史』より）

注　李朝第四代国王世宗…李氏朝鮮時代の国王。在位期間は一四一八～一四五〇。

問一　――線部①「文字のない時代にあっても、話し言葉さえあれば」とありますが、筆者は文字がなく、話し言葉しかなかった場合どうなってしまうと考えていますか。次の□に合うように十字で答えなさい。

語った途端に消えるので、□ことが難しい。

問二　本文中の□②□には次の言葉を並び替えた文が入ります。正しく並び替えて順番を記号で答えなさい。

絵というのは、（ア　ある瞬間を）（イ　なかの）（ウ　表現する）（エ　とらえて）（オ　時間の）（カ　流れ続ける）ものです。

問三　本文中の（　ア　）～（　エ　）には同じ漢字一字が入ります。その字を入れて読んだとき、その字の読みが異なるものを一つ選び、記号で答えなさい。

問四　――線部③「リフォームしていく」・④「新築の家を建てる」とありますが、この具体例は文字についていえばそれぞれ何を表していますか。この傍線部より前の段落から、③「リフォームしていく」は十一字で、④「新築の家を建てる」は十三字で抜き出して答えなさい。

問五　本文中の（　あ　）～（　え　）にあてはまる言葉としてふさわしいものを、次のア～エの中からそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

ア　もともと　　イ　また
ウ　たとえば　　エ　ところが

問六　――線部⑤「そんなにうまく行くわけがありません」とありますが、その理由を説明したものとしてふさわしいものを、次のア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　日本人は中国から借りた漢字で書かれた人名や地名をどう読むのか見当もつかないから。
イ　日本が漢字を受け入れたのは四世紀頃と遅(おそ)く、漢字を完璧(ぺき)に解明する時間の余裕(ゆう)がなかったから。
ウ　日本語と中国語の構造は異なるのに、その言語の文字を借りてしまったから。
エ　中国語には日本語と同じように助詞・助動詞が存在し、似ていて紛らわしいから。

問七　――線部⑥「もどかしさ」とありますが、次のア～エのうち「もどかしい」の使い方として正しいものはどれですか。ア～エの中から一つ選び、記号で答えなさい。

ア　漢字の口とカタカナのロという似ている文字をみて、もどかしいと思う。
イ　生まれたばかりのかわいい我が子の寝顔(ね)をみて、もどかしいと思う。
ウ　整理整頓(とん)されていてさっぱりした彼(かれ)の部屋をみて、もどかしいと思う。
エ　友人が自分の気持ちをはっきりと言い出せないのをみて、もどかしいと思う。

問八　――線部⑦「日本人が時々経験する「漢字が読めない」という不思議な現象」はなぜ起こってしまうのでしょうか。本文中の言葉を用いて二十五字以内で説明しなさい。

問九　本文にあるようにかつて日本は中国から漢字を借り、そして現代私たちがよく用いる熟語も取り入れた。次の①～④の熟語の成り立ちとしてふさわしいものを、次のア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

①　音声　　②　読書　　③　往復　　④　非常

ア　似た意味の漢字の組み合わせ
イ　意味が対になる漢字の組み合わせ
ウ　上の漢字が下の漢字を修飾（しょく）する関係にある組み合わせ
エ　「～を」「～に」に当たる意味の漢字が下に来る組み合わせ
オ　上の字が下の字の意味を打ち消しているもの

問十　本文にあるようにコミュニケーションには様々な方法や特徴（ちょう）、歴史があります。あなたは、将来社会の中で人間はどのようなコミュニケーションをとっていくようになると考えますか。理由とともに二百字以内で書きなさい。

二　次のカタカナの文章を読んで、漢字とひらがなと読点を正しく用いて書き直しなさい。

コトシシガツニアナタハイヌトネコノドチラガスキデスカトイウチョウサヲオコナッタ。ジュウダイカラロクジュウダイマデノダンジョケイセンメイガカイトウシタケッカダンセイモジョセイモイヌズキガネコズキヲウワマワッタ。シカシヤクニワリノヒトガドチラモスキデハナイトコタエタノダ。ドウブツヲコノマナイヒトハケッコウオオイノデハナイカ。

三

次の(1)～(5)の――線部の漢字をひらがなに、(6)～(10)の――線部のカタカナを漢字に改めなさい。

(1) トンネルから汽笛の音が聞こえる。
(2) 例の新入生は有望株である。
(3) 仕事では部下を上手く操縦する。
(4) 友人に郷土料理をふるまう。
(5) 畑から食料を調達する。
(6) ケイサツショに遺失物を取りに行く。
(7) ハイスイの陣をしく。
(8) 社員はチンギン引き上げに努めた。
(9) 私はキョウチュウを打ち明けた。
(10) この映画にはジマクが付きます。

四

次の(1)～(5)の各文の（　　）にあてはまるものをあとのア～オの中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

(1) いたずらを注意されて（　　）をすくめる。
(2) あまりの美しさに思わず（　　）をのんだ
(3) 政府は（　　）をこまねいているだけで何もしない。
(4) 彼はいつも（　　）に衣着（きぬ）せぬもの言いをする。
(5) 今日までに貸したものは（　　）をそろえて返しなさい。

ア 息　イ 耳　ウ 手　エ 歯　オ 肩（かた）

二〇二三年度　国語　解答用紙　第二回　（二月一日午後）

一

問一

問二

問三

問四　③　④

問五　あ　い　う　え

問六

問七

問八

問九　①　②　③　④

問十

受験番号

氏　名

得　点

＊

＊印のところは、何も記入しないでください。

小　計　一

＊

二〇二三年度　国語　解答用紙　第二回　（二月一日午後）

受験番号

氏　名

＊印のところは、何も記入しないでください。

得　点

＊

二

小　計　二

＊

三

(1)	(4)	(7)